

オルソコルテックスは外側に行くにつれて楕円になっている。 どうしてそうなっているのか？



■外側に行くと楕円の形すら分からなくなってしまうということは、外側に行けば行くほど傾斜が急になっているということである。単に傾斜しているのではなく、曲がっている。傾斜した配列は断面が楕円になっている。



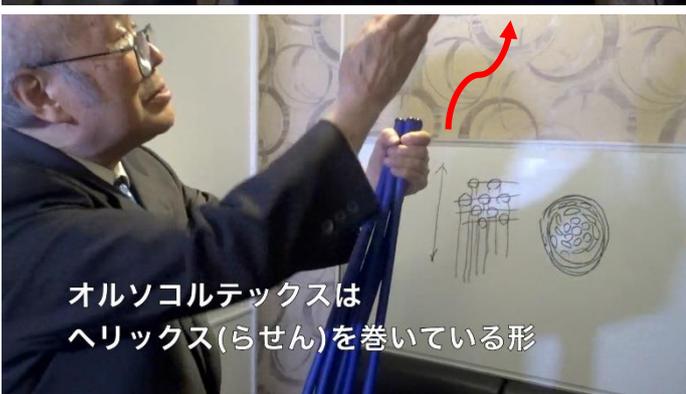
■IFに見立てた棒を(左のように)外側にねじってみると、

IFに見立てた棒を揃えて
外側に回してみると



■真ん中はツイストできないが、外側は少しねじるだけでぐっとねじれる。つまり外側はたくさん傾斜配列しているが、真ん中は動きがないということ。

外側は
ちょっと曲げるだけで
グッと曲がる



■オルソコルテックスはヘリックス(らせん)を巻いている形。らせんというのは永遠を表す。つまり自然はらせんを巻いて安定化するという構造を毛髪に与えたのである。

オルソコルテックスは
ヘリックス(らせん)を巻いている形



■パラコルテックスは単純に毛髪の繊維軸の方向にIF+KAPが平行に配列しているだけであり、真っ直ぐで味わいがないとも言える。それに対してオルソは毛髪の繊維軸に対してらせんを巻いて存在している。そういう複雑な構造はまさに自然そのものである。

■この2つのコルテックスの存在が毛髪の形態に関係している。